

国土地理院マップメーカーの活用

～ 図上訓練地図資料の作成 ～

江別市総務部総務課(危機対策・防災担当)
目黒茂樹

～ 活用事例 ～

- 平成26年2月3日開催 江別市職員情報伝達図上訓練
(水害を想定した情報伝達訓練)
- 訓練時のイメージ作り等の意味も込め、
資料集を作成。
国土地理院マップメーカーを活用した。

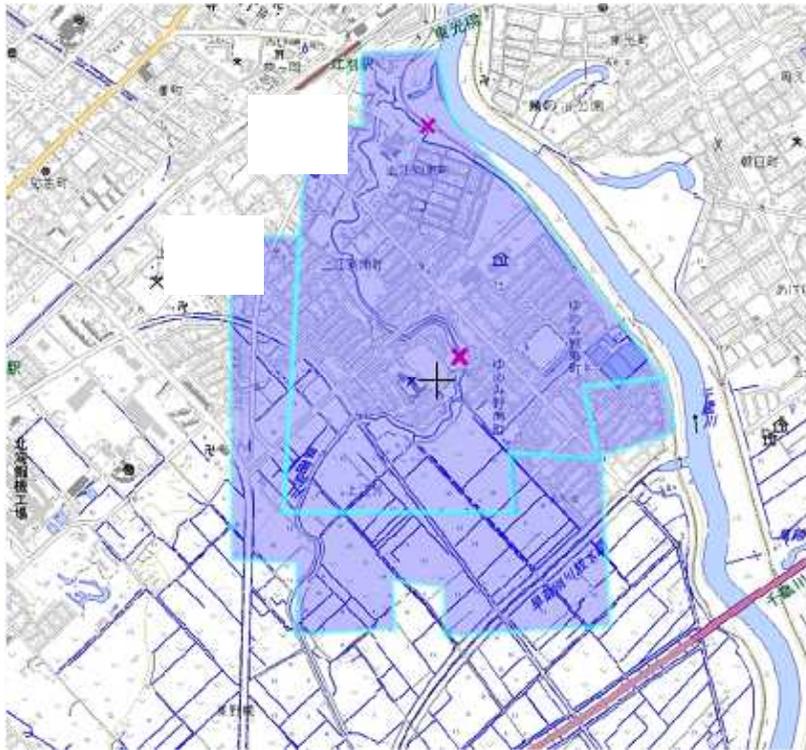
平成25年度
江別市災害情報伝達図上訓練
資料集①

〔 想定 10:00 第2回本部員会議まで 〕

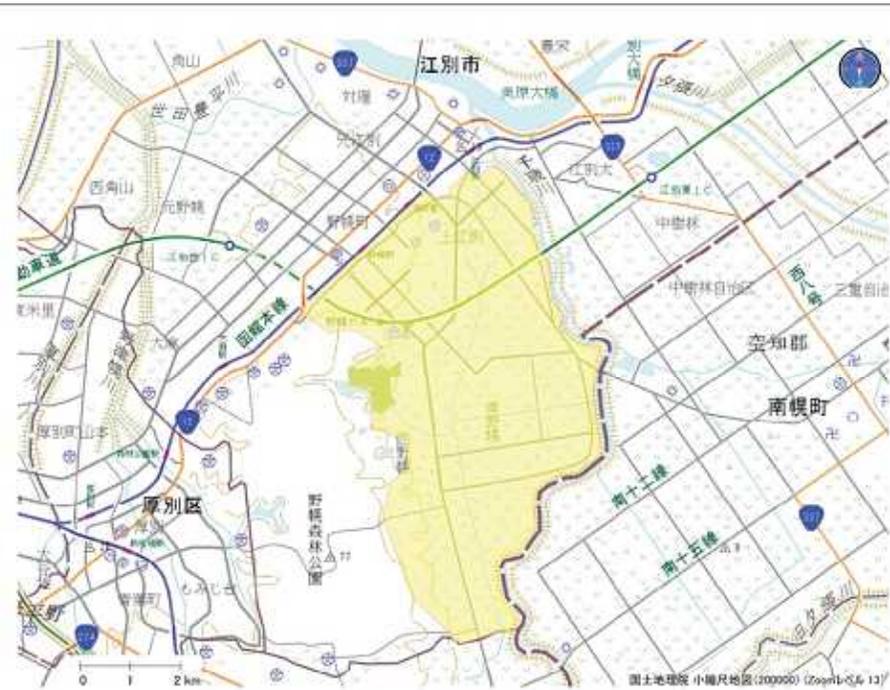
訓練中に送付する資料は、全て関係機関監修のもと作成していますので、実際に起こりうる事象になります。
(協力：札幌開発建設部、札幌管区気象台、国土地理院)

～ ポリゴン活用 ～

浸水予想区域

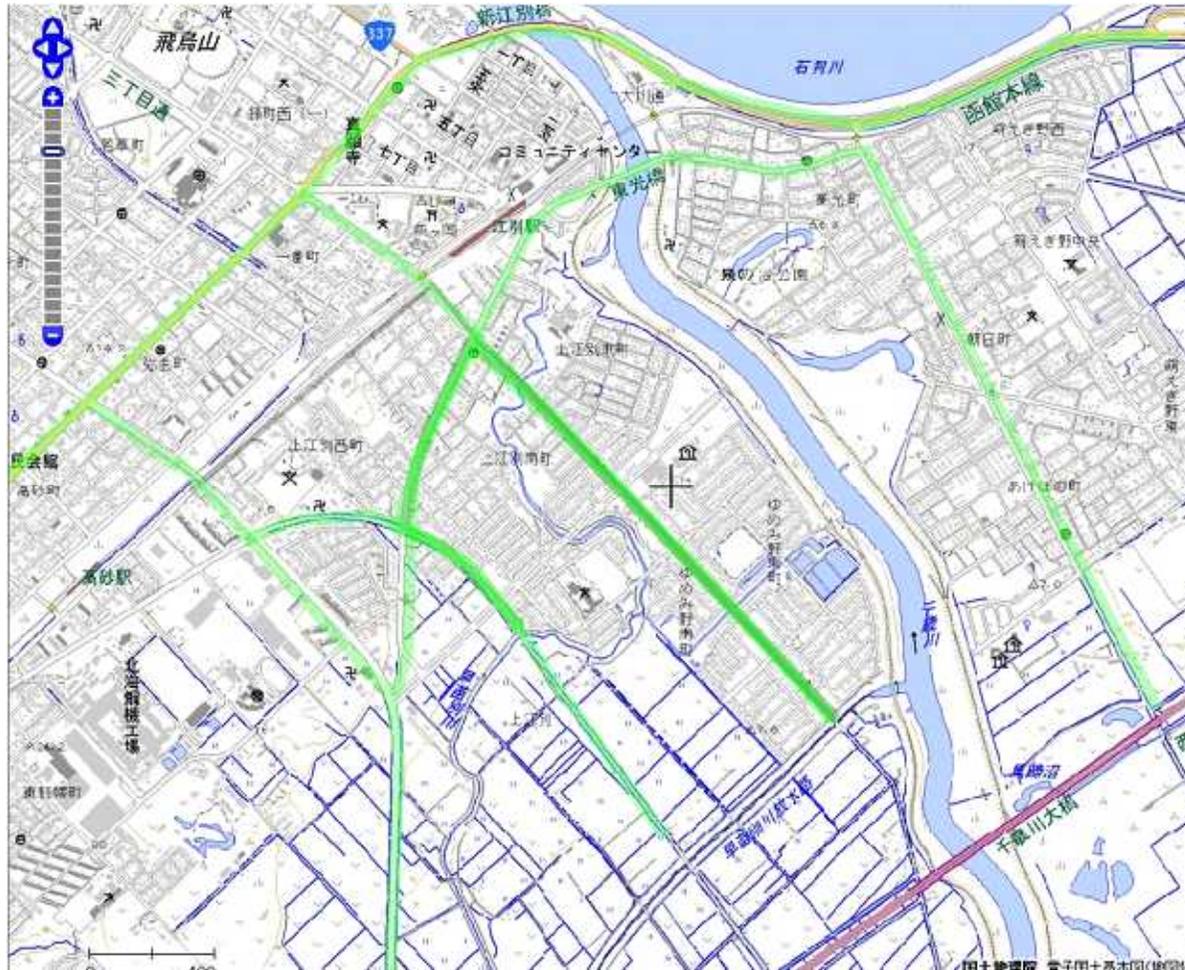


停電区域



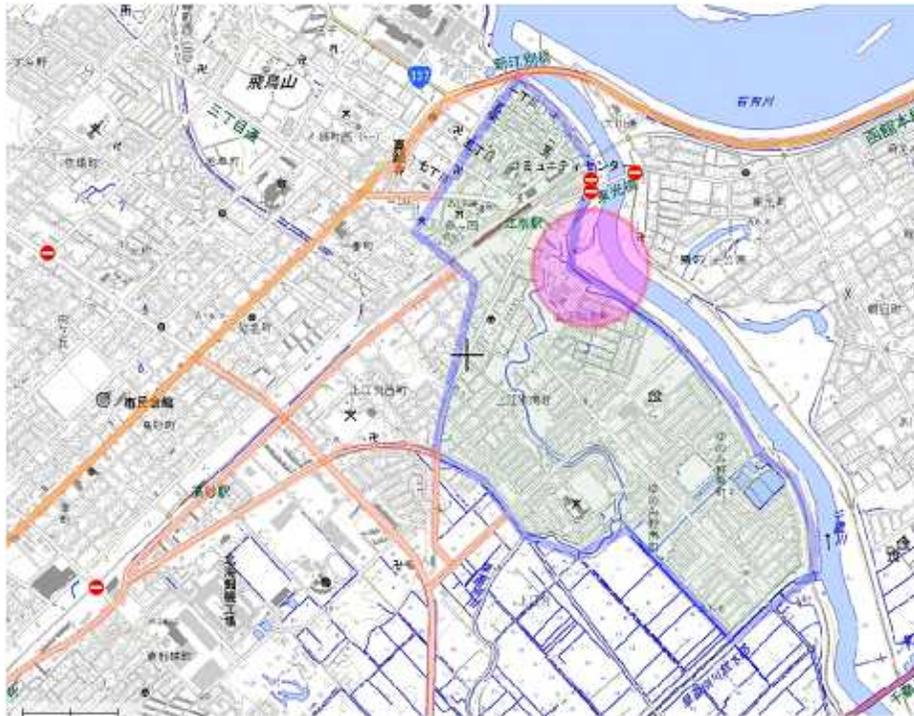
ラインの色を同色にせず、一枚の地図で浸水経過が分かるように。
(ラインが決壊30分後、 が1時間後)

～ ライン活用 ～



～ 応用活用 ～

避難有効道路



警戒巡視場所



ポリゴン ～ 決壊危険場所と浸水予想区域
ライン ～ 避難有効道路と重点警戒巡視場所
多彩なマーク ～ 通行止めマークで冠水場所等

～ 活用してみても～

- 20数枚の資料地図(画像変換)の作成期間1～2日。
- 操作性が良く、多彩なマーク部品なども豊富で非常に活用し易かった。
- 時間がない中で、とても良い資料が作成できた。
- ポリゴンを描いた時点で透過するので、背景の地図情報を残したままで特定範囲を示しやすい。
- 濃いカラーが欲しい場面があった。

～ UTMグリッドマップ～



江別市の防災基本地図の一つとして、平成26年4月1日から本格活用。
自衛隊・消防・警察・市防災担当の間の共通言語として

江別市 UTMグリッドマップ

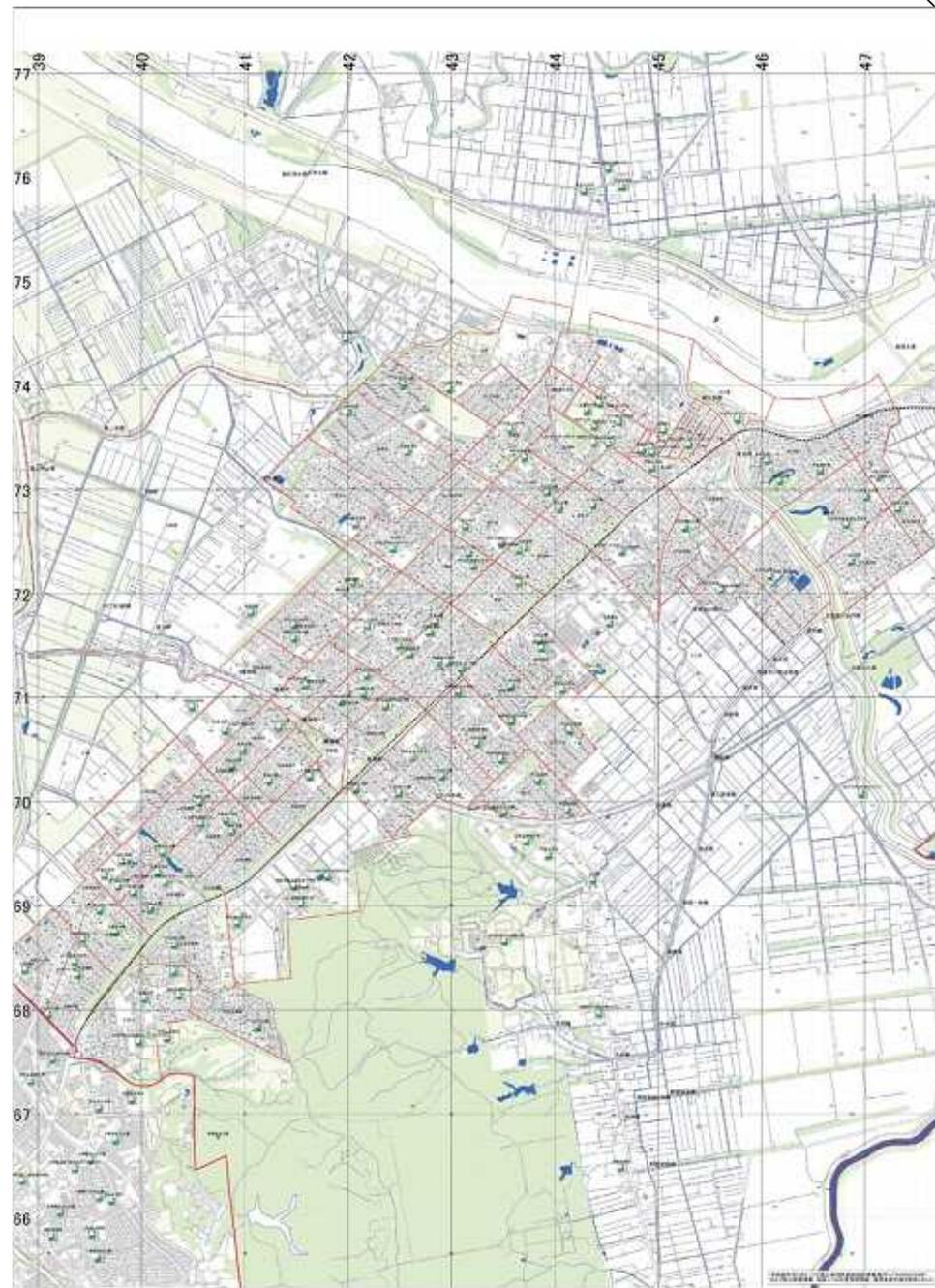
〔東日本大震災での課題〕
異なる地図。土地勘がない応援部隊。
位置情報の共有に難儀。



〔当市解決法として〕
デジタルでも紙でも位置情報を共有
できる世界共通言語のUTM値を活用。

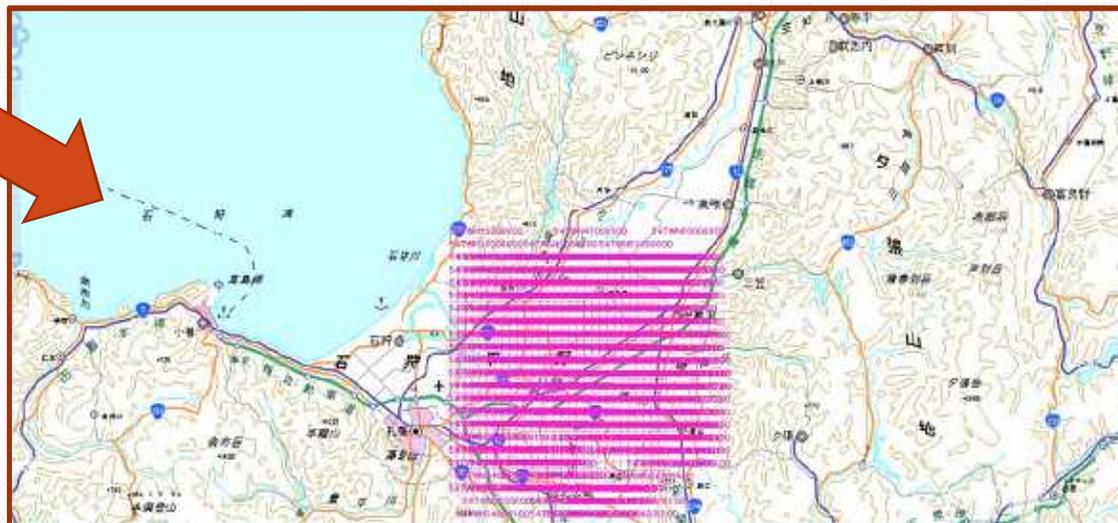
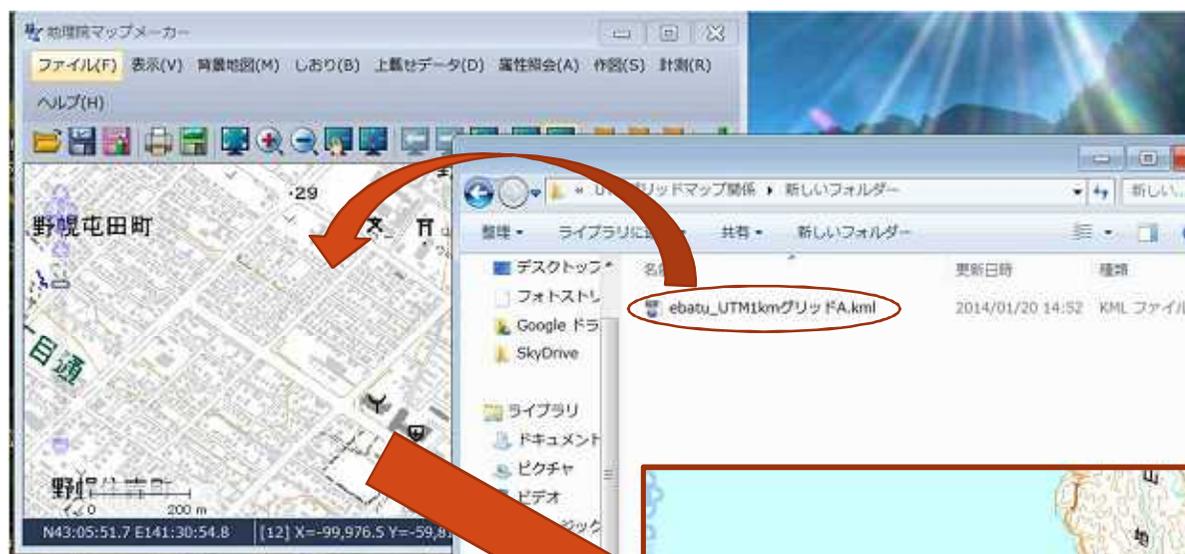


〔効果として〕
共通認識の強化と効率効果的な
活動が期待。
国内外を問わず派遣部隊の有効な
連携活動が期待。



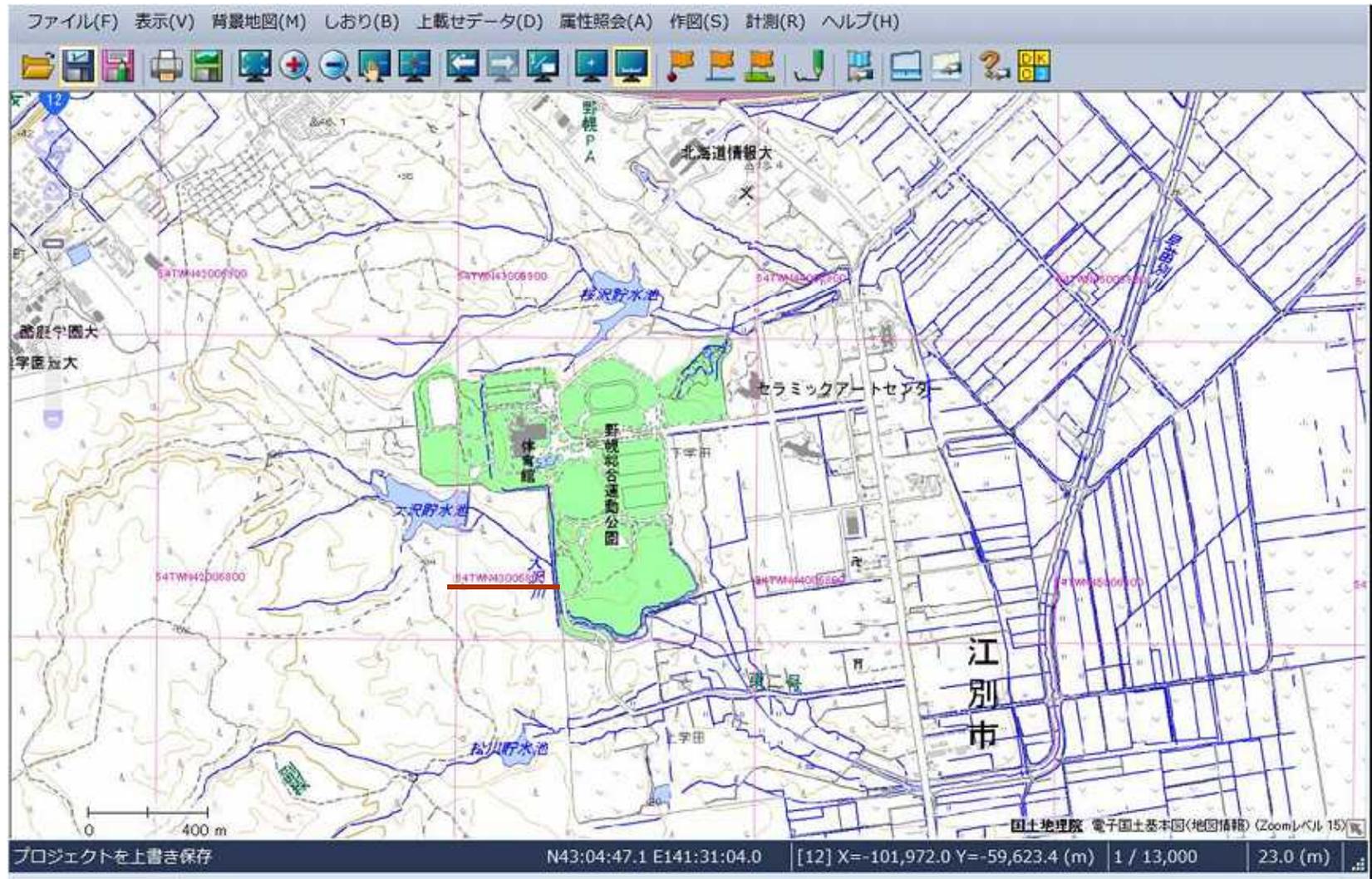
～ マップメーカーでUTM活用 ～

自衛隊から伝達。「UTMグリッド 4352 - 6865へ集結する」



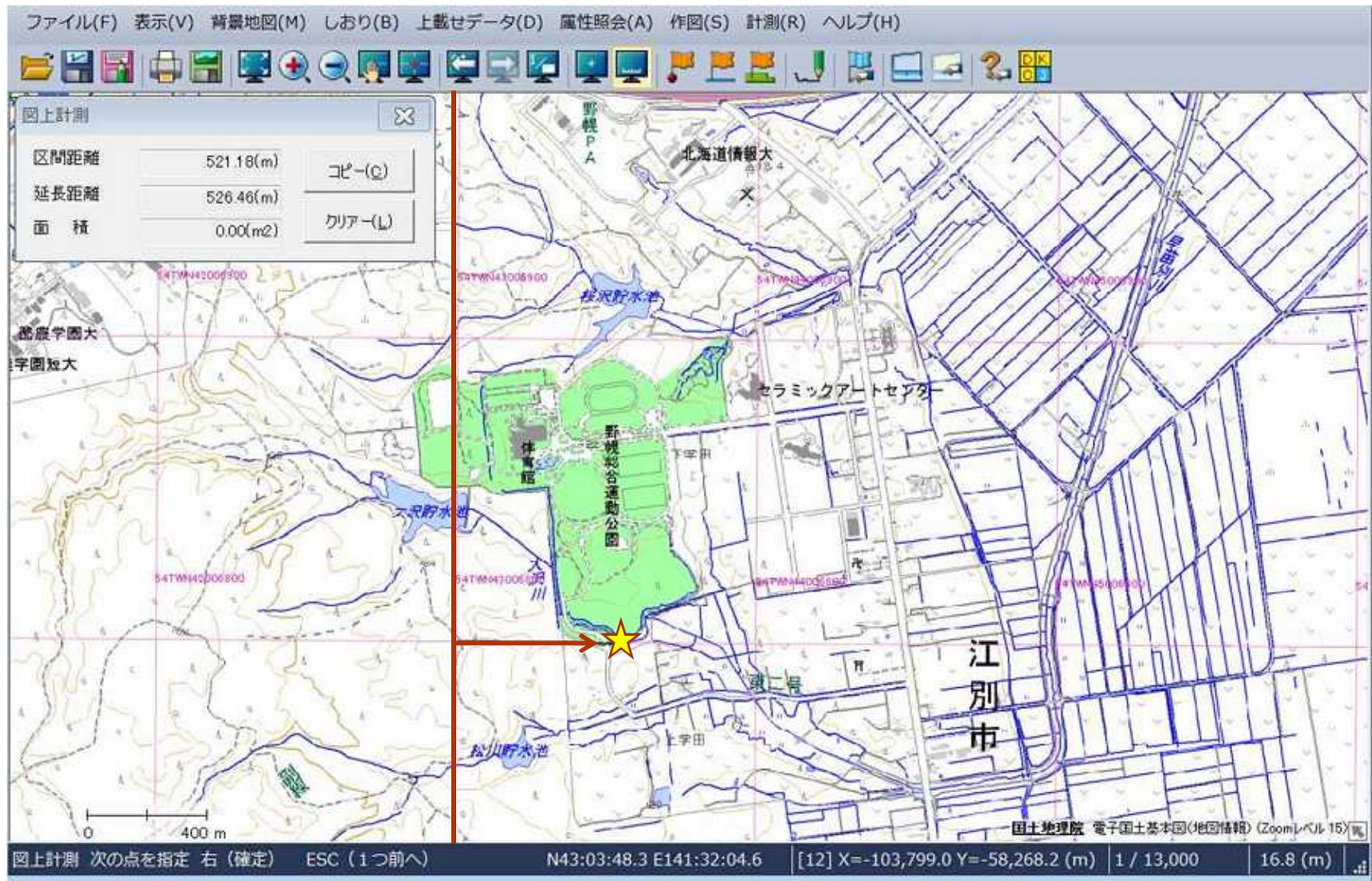
～ マップメーカーでUTM活用 ～

自衛隊から伝達。「UTMグリッド 4352 - 6865へ集結する」



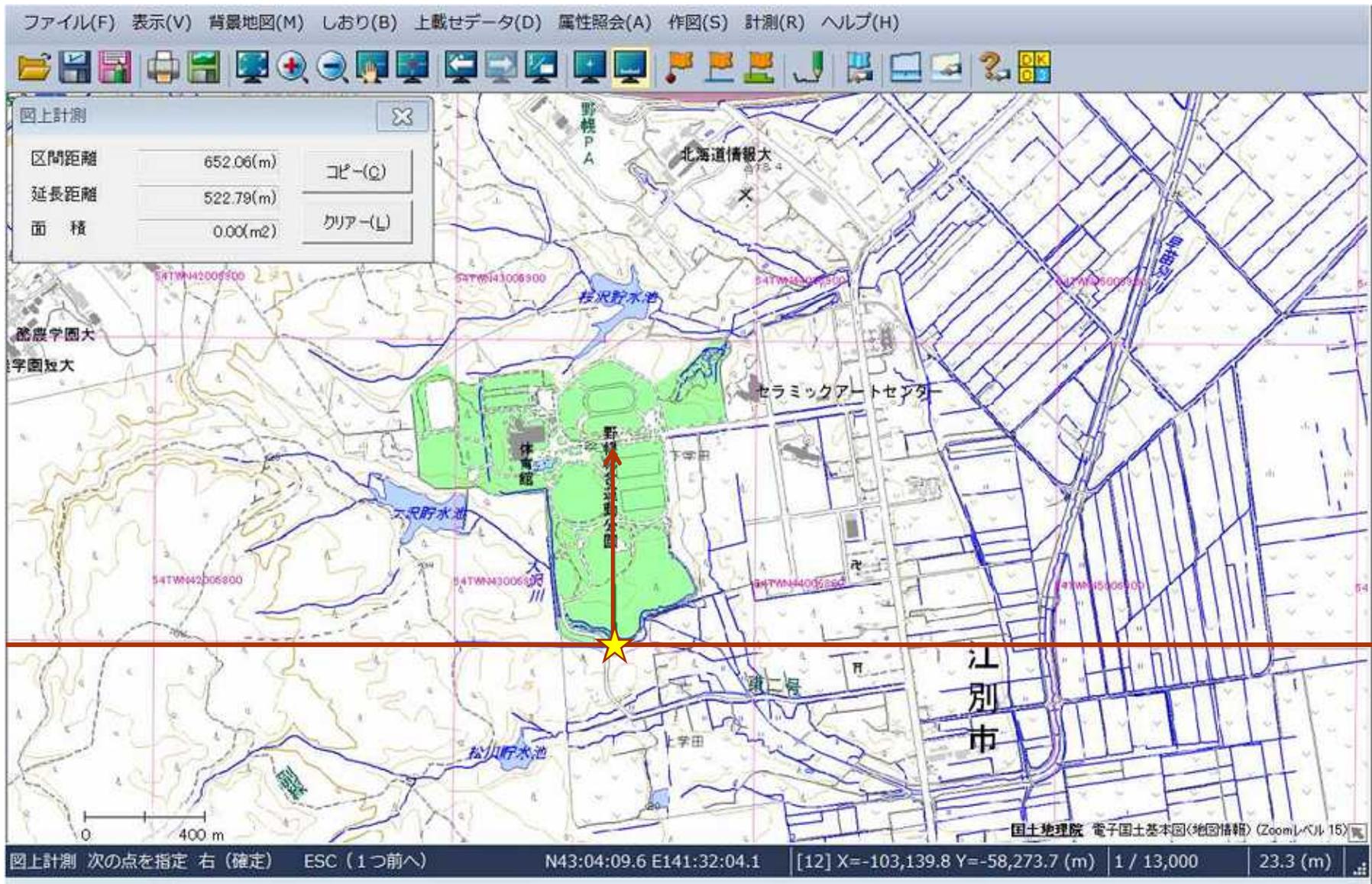
～ マップメーカーでUTM活用 ～

自衛隊から伝達。「UTMグリッド 4352 - 6865へ集結する」



～ マップメーカーでUTM活用 ～

自衛隊から伝達。「UTMグリッド 4352 - 6865へ集結する」



～ マップメーカーでUTM活用 ～

自衛隊から伝達。「UTMグリッド 4352 - 6865へ集結する」

